

い い な ん ち ょ う ち く か っ せ い か け い か く
飯南町地区活性化計画

島根県飯南町

平成23年 3月

1 活性化計画の目標及び計画期間

計画の名称	飯南町地区活性化計画						
都道府県名	島根県	市町村名	飯南町	地区名	飯南町地区	計画期間	平成23年度～平成25年度

目 標 :

食材提供供給施設（地元食材提供施設）を整備し地元食材の提供機会を創出することで、農業者ならびに各種団体等の所得向上につなげるとともに、隣接する温泉施設や本町の観光事業との組み合わせにより地域内の活性化を図る。なお、現在の交流人口約243,600人から約269,314人（約10.56%）への増加を目指す。

目標設定の考え方

地区の概要：

本町は、島根県と広島県との県境、島根県の南側の玄関に位置し、東西32km、南北32km、総面積242.84km²である。また、中国山地の脊梁部に位置し、北西には大山隠岐国立公園三瓶山、東には大万木山など標高1,000m前後の山々に囲まれ、平地でも400m～500mの山間高冷地である。町土の91.32%（221.75km²）は山林・原野等が占めており、田は5.62%（13.65km²）、畑は0.83%（2.02km²）、宅地は0.70%（1.69km²）となっている。女亀山を源流とする神戸川をはじめ、山林からの清流は斐伊川、江の川へ注ぎ、その流域に耕地が広がり集落が点在している。この山間高冷地の気象条件から、県下の良質米の産地として知られている。

本町の基幹産業は農林業であり、中でも水稻を中心に肉用牛又は乳用牛、メロン、ハウレン草などの施設園芸、花卉及びヤマトイモなどを加えた経営の農業が主となっている。しかし、農業の地域基幹産業としての生産額や従事者数の占める割合は低下しつつあり、若年層は他産業へ流出し担い手はほとんど高齢者によって占められ、後継者不足やそれに伴う経営耕地面積減少の懸念は深刻な問題となっている。

江戸時代には、出雲、石見、備後の三国にまたがる陰陽交通の要衝として、大森銀山からの幕府の銀の輸送や石見から備後へ魚類等の輸送が盛んに行われるなど、陰陽を結ぶ街道の宿場町として栄え、現在も陰陽の幹線である国道54号が縦断し、県西部への主要地方道や県道の分岐点となっている。そのため、出雲地域とは異なり、ワニ料理やしば餅など石見、備後の食文化や方言などが混在する地域である。

現状と課題

本活性化区域内では、道路交通網の整備、農林業の生産基盤の整備、保健・福祉施設の整備、情報通信網の整備などの住民生活に密着した整備を促進してきた。この地区内では、交流活動として伊丹市との姉妹都市提携や近畿・広島出身者会の設立により物販交流、各種スポーツ交流をはじめ、農作業体験、ぼたんまつりやりんご狩りなどによる交流が行われている。また、滞在型市民農園「志都の里クライナガルテン」を整備し、都市との交流、定住促進を進めてきた。新たに交流の核となっている森林セラピー事業についても、拠点となる施設整備を行い今後は医学的プログラム（メディカルプログラム）を取り入れることにより、他地域との差別化を図っていく。

このような状況の中、平成25年には中国横断自動車道尾道松江線の松江区間が全線開通することにより、本町の大動脈である国道54号線の交通量は激減すると予測されている。交通量の減少は、本町経済に大きな影響を与えるものであり、交流人口減少はもとより農林業の低迷の一層の拍車が懸念される。また、昨今の厳しい農業情勢の中で担い手不足や農用地の遊休化・耕作放棄地の拡大、森林の荒廃が進み、地域活力の低下もあいまって集落の崩壊が懸念される場所である。

今後の展開方向等

食材提供供給施設を整備することは本町の魅力である食を提供する機会を創出することができ、来町者へ食の魅力を情報発信することができる。これにより、交流人口の増加を期待することができるとともに地産地消の推進も図られる。また、農家や生産者からの生産物を取り扱うことで生産者所得の向上にもつながるものである。今後においては、本町の優れた観光資源と魅力である食を組み合わせることにより、交流人口増加を目指し地域農業の振興を図っていく。

2 目標を達成するために必要な事業及び他の地方公共団体との連携

(1) 法第5条第2項第3号に規定する事業

市町村名	地区名	事業名（事業メニュー名）	事業実施主体	交付金希望の有無	法第5条第2項第3号イ・ロ・ハ・ニの別	備考
飯南町	飯南町地区	地域資源活用総合交流促進施設 (41. 農林水産物直売・食材提供供給施設)	飯南町	有	ハ	

(2) 法第5条第2項第4号に規定する事業・事務

市町村名	地区名	事業名	事業実施主体	交付金希望の有無	備考

(3) 関連事業（施行規則第2条第3項）

市町村名	地区名	事業名	事業実施主体	備考

(4) 他の地方公共団体との連携に関する事項

都市交流施設の交流人口の増加、特産品の販売額の増加にあたっては、従来雲南広域連合の下で連携して観光振興にあたっている雲南市、奥出雲町とも連携し、積極的なPR活動を展開するとともに、県の観光部局とも連携し、広域的な広報活動を展開することとする。具体的には、広島からのバスツアーの実施など広島市を中心とした都市農村交流の積極的な事業展開を図る。

3 活性化計画の区域

飯南町地区（島根県飯南町）	区域面積	24,284ha
区域設定の考え方		
①法第3条第1号関係： 数値 農家人口 3,120人 農家世帯 901戸 ※H22農林経営実態調査 当該区域の総面積24,284haのうち農林地面積は23,742haで98%を占め、総世帯数の42%が農家であり、総人口の55.3%が農家人口となっている。 なお、本数値は平成23年2月現在の農業委員会、林業担当課からの数値としている。		
②法第3条第2号関係： H17.4： 6,174 人 2,197 戸 H22.4： 5,643 人 2,131 戸 人口の減少（H17→H22で8.6%減）、高齢化比率（39.1%）から見て、活性化のためには、交流を進めることは必要不可欠である。		
③法第3条第3号関係： 区域（飯南町全域）内に市街地を形成する都市計画用途区域は存在しない。		

4 市民農園に関する事項：該当なし

5 農林地所有権移転等促進事業に関する事項：該当なし

6 活性化計画の目標の達成状況の評価等

目標：「交流人口25,000人以上の増加を目指す」
 評価：「計画最終年度の翌年度において、島根県が実施する観光動態調査の数値と関連観光施設のヒアリングを把握した上で、飯南町活性化委員会により検証する。」

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計 画 主 体 名	計 画 期 間
しまねけんいいなんちょう 島根県飯南町	平成23年度～平成25年度

<連絡先>

担当課	電話番号	F A X 番号
住民課	0854-76-2213	0854-76-2221

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増 加 率 等 の 算 出				
交流人口の増加	10.56 %	計画期間内(H23～25)の計画区域外からの入込客数 269,314 人を 計画期間前(H20～22)の計画区域外からの入込客数 243,600 人で除し、 100を乗じて100を減じて算出				
事業活用活性化計画目標の設定根拠						
関連観光施設における交流人口(単位:人)	H20	H21	H22	H23	H24	H25
・道の駅赤来高原	55,689	51,766	36,925	48,120	49,422	49,856
・ふるさとの森(県民の森)	8,405	12,365	5,883	8,880	10,182	10,616
・加田の湯	23,895	24,372	24,300	24,670	25,972	26,406
・新ごんべえ茶屋(食材提供施設)	0	0	0	0	6,510	8,680
計	87,989	88,503	67,108	81,670	92,086	95,558
	計画期間前		243,600	計画期間中		269,314
計画期間前の数値は、島根県観光動態調査数値を参考に、計画区域外入込者数を各観光施設の聞き取りにより設定している。 計画期間中の数値は、平成20から22年の3ヵ年平均若しくは、増加率をもとに計算し、食材提供供給施設(新ごんべえ茶屋)整備にともない、各施設への入込者数は 食材提供施設(新ごんべえ茶屋)利用者の2割を増加人数に設定している。 なお、食材提供施設(新ごんべえ茶屋)は23年度に整備するため、計画期間中の増加率については24年度から発生する。						

事業活用活性化計画目標	増加率等	増 加 率 等 の 算 出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

Ⅱ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金 要望額 (千円)	交付額 算定 交付率	交付 限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農林水産物直売 ・食材提供供給施設	飯南町地区	食堂施設の新築	設計業務委託 一式 建設工事: 敷地整備 750㎡ 食堂増改築 140㎡	H23	飯南町	30,000	15,000	1/2	15,000	地域食材を提供することで生産者所得の向上を図ることができ、地域食材であることを目玉に来客者に対し食の魅力を情報発信できる。また、本町の魅力である自然や観光資源と組み合わせることで、飯南町地区の交流人口の増加を目指すものであり、目標との関連性がある。
合計						30,000	15,000		15,000	

Ⅲ 優先枠を活用する事業に関する事項 : 該当なし

IV 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金年度別事業実施計画

[illegible]

飯南町地区活性化計画区域図

飯南町全域を区域とする

